

## 「MR3000Xシリーズ」

「価格1/3」「機能2倍」「サイズ1/2」  
戦略価格で市場を牽引する注目の新製品



写真1 新シリーズ「MR3000Xシリーズ」のプロトタイプ製品「HD/SDエンコーダ内蔵OFDM変調器」

小笠原 顕也 ミハル通信(株)企画部 主査

今年度中に発売するミハル通信の館内デジタル自主放送システムの新シリーズ「MR3000Xシリーズ」は、Inter BEE 2010で大反響をいただきました。新シリーズ第1弾のプロトタイプ製品「HD/SDエンコーダ内蔵OFDM変調器」は、HD/SDエンコーダ・TS多重器・OFDM変調器を搭載し、弊社従来製品比で「機能2倍、サイズ1/2、価格1/3」を実現しました。

### 学校、病院、ホテルなどが 購入しやすい低価格

ミハル通信が長年事業の柱にしてきたケーブルテレビ事業者用の伝送路機器は、館内デジタル自主放送システムと技術的に非常に親和性があります。弊社は館内デジタル自主放送システムに使われている高周波技術に50年以上前から、デジタル映像信号伝送技術に20年以上前から取り組んでいます。弊社の館内デジタル自主放送システムは、ケーブルテレビ事業者用機器で鍛えた技術力と信頼性を持っているのです。

「MR3000Xシリーズ」のプロトタイプ製品「HD/SDエンコーダ内蔵OFDM変調器」の第1の特長である価格は、約200万円だった従来製品の「1/3の市

場価格」を想定しています。館内アナログ自主放送システムに近い水準まで思い切って低価格化し、学校、病院、ホテルなどがご購入しやすくなりました。「1/3」という低価格化は、HD/SDエンコーダ・TS多重器・OFDM変調部の機能を一枚の基板上に作り込んで実現しました。エンコーダには最先端トランスコードICを採用し、ミハル通信独自の設計思想のチップをデバイスメーカーと共同開発しました。

### 既存アナログ機器を活用し 徐々にデジタル化も可能

「HD/SDエンコーダ内蔵OFDM変調器」の第2の特長である機能は、HD/SDエンコーダの共有のほか、インターフェイスを従来のHD-SDI、SD-SDI、コンポジットビデオに、HDMI、D端子、SDカードスロットを追加して、「機能2倍」にしました。アナログのインターフェイスも搭載したことで、DVDやVHSのデッキを接続して映像信号を入力できます。いっぺんに設備をデジタル化しなくても、既存のアナログ機器を活用しながら徐々に館内自主放送システムをデジタル化していくことができます。SDカードスロットもありますので、SD

カードに入れたコンテンツを流すことが可能です。ホテルなどでインフォメーションを繰り返し放送するのに便利です。

データ放送や視聴制御などの高機能サービスにも対応しています。データ放送を使うと、病院、運転免許センター、役所などのインフォメーション端末で来館者が知りたい情報をインタラクティブに調べられるシステムを簡単に構築できます。

そして「HD/SDエンコーダ内蔵OFDM変調器」の第3の特長であるサイズは、内部構造を改良して「標準ラックのハーフサイズ」に小型化して、従来の館内アナログ自主放送システムが設置されているAV卓に納まる大きさにしました。

### 競技場など高機能用途向けに 各種拡張ユニットも順次発売

「MR3000Xシリーズ」は今年、各種の拡張ユニットを発売していきます。さらに高画質に対応した「ハイスpek HDエンコーダ」は、大型ディスプレイに動きの早い映像を映す競技場や空港などに向いています。SDのマルチ編成が可能な「マルチSDエンコーダ」は、公営競技場のオッズ表示などに最適です。遠隔地の館内デジタル自主放送シ

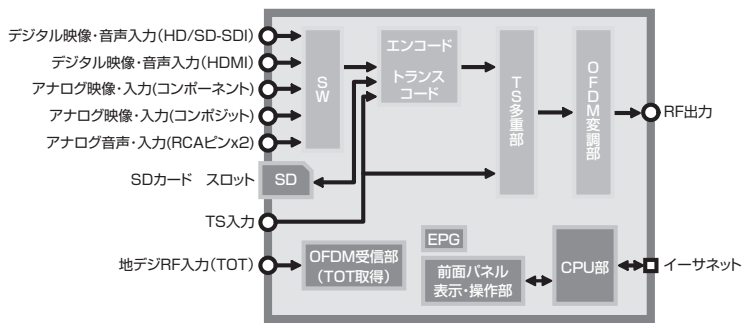


図1 「HD/SDエンコーダ内蔵OFDM変調器」のシステム構成

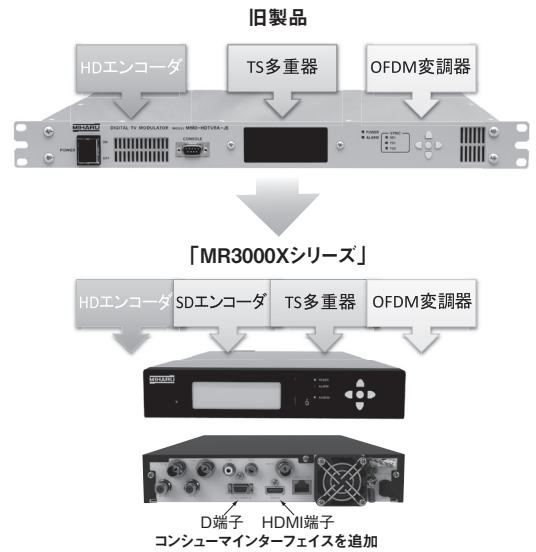


図2 「機能2倍」にしながら「サイズ1/2」を実現

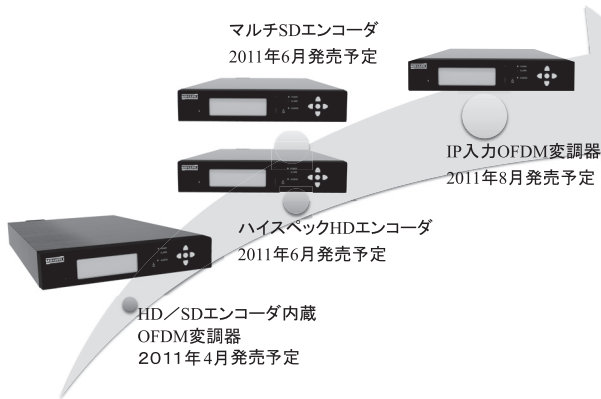


図3 各種の拡張ユニットのロードマップ



写真2 Inter BEE 2010での「MR3000Xシリーズ」発表には、多数の来場者が集まった

システム間で映像をインターネット伝送できる「IP入力OFDM変調器」は、企業の本社・支社間、公営競技場・場外発券所間、家電量販店本部・各店舗間などの映像伝送に対応した製品です。

## Inter BEE後に相次ぐ引き合い「この値段なら買える」と好評価

Inter BEE 2010終了後、弊社には学校、ホテル、放送局、一般企業、自治体、官公庁などさまざまな業種のお客様から、ホームページやお電話での問い合わせを毎日いただいています。商談も進んでいます。

学校に関しては、今年の時点ではほとんどの小中学校には地デジ対応テレビが導入されていましたが、校内放送などの館内自主放送のデジタル化は、機器が高価なため進んでいませんでした。

そのようなときに弊社が非常にローコストの「MR3000Xシリーズ」を発売したため、教育委員会などが導入に動き始めました

あるホテルのお客様は、従来のアナログ変調器と比べて館内デジタル自主放送システムは価格が非常に高いため導入に踏み切れませんでした。が、「1/3の価格なら」と「MR3000Xシリーズ」の購入を決めていただきました。

ある放送局のお客様は、もう2年くらい前から館内デジタル自主放送システムの導入を計画していましたが、コストがかかるため進んでいなかったのですが、「MR3000Xシリーズ」発売を受けて急遽、購入の予算申請をされました。

「MR3000Xシリーズ」は皆様に、「この価格なら買える」と喜んでいただいています。

## プロジェクトチームで対応HOTERES JAPANにも出展予定

弊社は「MR3000Xシリーズ」のプロジェクトチームを立ち上げ、開発と生産に万全の体制で臨んでいます。現在、「MR3000Xシリーズ」に対するお客様の期待は非常に大きく、「一日でも早く欲しい」という声もたくさんいただいています。そのため、確実に計画通りに生産・出荷して、お客様の期待にお応えします。

「MR3000Xシリーズ」は2月に国際ホテル・レストラン・ショー (HOTERES JAPAN 2011、2月22日(火)～25日(金)、東京ビッグサイトで開催)にも出展します。ぜひミハル通信ブースにご来場ください。